

日本のテレビドラマ「家政婦のミタ」の英訳のニュアンス

(The Nuances in the English Translation of the Japanese Drama,

“I’m Mita, Your Housekeeper”)

ディン・ブライアン Bryan Ding

82-373: Structure of the Japanese Language

1. はじめに

私のプロジェクトのトピックは、日本のテレビドラマ「家政婦のミタ」の英訳のニュアンスだ。2011年に、「家政婦のミタ」というテレビドラマは日本で人気になった。人気すぎて、結局アメリカの企業 Crunchyroll に英訳され、提供した。しかし、その英訳にはたくさんニュアンスが入っている特に文章の構造だ。それなのに、私はその英訳はすごくよくできていると思うので、それについて調べたいと思う。最も重要な資料は Crunchyroll に英訳された「家政婦のミタ」のビデオ映像だ。

2. 日英語比較

2. 1. タイトルの英訳のニュアンス

まず、日本語と英語のタイトルを比較したいと思う。日本語のタイトルは、「家政婦のミタ」だが、その英訳は「I’m Mita, Your Housekeeper」だ。日本語では代名詞を使わなくても意味を伝えられるが、英語では代名詞を使わなくてはいけない。だから、日

本語のタイトルで、「I' m」に当たる言葉がない。それに、日本語のタイトルで、

「Your」に当たる言葉もない。英語は人間中心なので、日本語は状況中心だから、英語のタイトルで、よく代名詞が入っている。その理由で、日本語のタイトルは「家政婦」として始まっているが、英語のタイトルは「I' m Mita」として始まっている。

2. 2. ミタさんの会話の英訳のニュアンス

日本語には敬語があるけど、英語にはない。だから、敬語を訳す時によくニュアンスが入っていると思う。ドラマで、ミタさんはいつも丁寧な言葉を使って話す。例として、第10回で、

(1) 「申し訳ありませんが、ほっといていただけますか」

「I' m sorry, but could you please leave me alone?」

英語には、「I' m sorry」という言葉がいくつある。「Apologies」とか「My bad」とか全部「I' m sorry」と同じぐらい意味がある。しかし、日本語に当たる「I' m sorry」は別々の意味がある。最も基本的な例としては「すみません」だが、ミタさんの会話を見て意味はちょっと違っている。「申し訳ありません」は英訳として「I' m sorry」は不正解じゃないが、直訳として元の意味が入っていない。「申し訳ありません」は敬語なので、ミタさんは家政婦として丁寧な言い方を使わなくてはいけない。同じように、「ほっといていただけますか」は敬語なので、「could you please leave me alone」としての英訳は不正解じゃないが、直訳として元の意味が入っていない。

敬語以外に、ミタさんの会話の英訳にもニュアンスが入っている。例として、第10回で、

(2) 「わたくしは、主人と息子の死ぬ前の自分には、戻れないです。」

「I can't go back to my old self before my husband and son died.」

日本語の文章では「主人と息子の死」を中心にするけど、英語の文章では「can't go back to my old self」の方を中心にする。これは人間中心対状況中心のもう一つの例だ。日本語の文章で、ミタさんは自分の家族の悲劇を重視しているが、英語の文章で、ミタさんは昔の自分の方を重視している。だから、英語は人間中心だが日本語は状況中心だ。

2.3 日英語の文化的見方の違い

3. 終わりに

英語の文章には代名詞を使わなくてはいけないので、いつも人のことを述べる。だが、日本語の文章には代名詞がなくても意味を伝えられる。だから、日本語は名詞中心なので、英語は代名詞中心だ。英語には敬語がないが、日本語にはある。だから、敬語、尊敬語、や丁寧語を英語に訳す時に元の意味が入っていない。最後に、英語は人間中心だが日本語は状況中心なので、英訳の時に文章の構造は非常に違うが、意味を伝えられる。

データ出典と参考文献

<http://www.crunchyroll.com/im-mita-your-housekeeper>